



### 神奈川大学フロンティアクラブ会長 春原正三郎

近は平成に卒業された新会員が見られるようになりました。また、本年11月末に話題となっていたフロンティアクラブHPを更新しました。男女共同参画社会やジェンダーの言葉が叫ばれて久しいこの頃ですが、当クラブ

会員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年も引き続きコロナ禍にあって、猛暑や集中豪雨など、経験のないほどの暮らしをせざるをえませんでした。さて、本年12月、当クラブは創立25周年を迎えました。これもひ

とえに会員の皆さま、事務局の皆さん、大学のご協力の賜と衷心より感謝申し上げます。前号(第37号)の「就任あいさつ」で述べさせていただいた当クラブ活発化のためには会員の増強が必須で、特に各界で活躍される若々しい会員の参加も求められます。おかげさまで最



**神奈川大学  
フロンティアクラブ会報**

**第 38号**

発行日 2022年12月20日  
編集・発行 神奈川大学フロンティアクラブ  
組織・広報専門委員会  
事務局 神奈川大学 総務部校友課内  
〒221-8686  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL.045-481-5661(代)  
FAX.045-481-2741

## 活発化のために会員の増強を！

会員は残念ながらほぼ男性会員で占められています。皆さまの協力と女性会員の増強もはかり、大学のさらなる発展や学生への学修・就職支援のほか、特に会員間の交流親交を目指し、会員個人にもメリットが出るよう、より強固なクラブにしましょう。これを具現化するため、組織・広報、奨学金、産官学の3つの専門委員会を検討しています。

新型コロナウイルス感染症は第8次の流行が懸念されていますが、皆さまとともに最善の防止策をはかりながらゴルフやテニス、山歩き等の交流会、会員企業の職場見学会、フロンティアサロンを再開しています。皆さまの参加をお待ちしています。

会員の皆さまとご家族の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

### 第128回フロンティアサロンは横浜港一周

伊東慎介横浜港埠頭(株)代表取締役社長(昭和56年法律卒)のご協力のもと11月15日、観光船で横浜港一周のクルージ



観光船前での集合写真

ングを行った。(事務局を含めて25人参加) 船内では、会員同士が久しぶりの対面ということもあり、和やかな雰囲気のもと、参加者全員が自己紹介を行い、卒業生同士の世代を越えた親睦を深めた。

下船後、リニューアルされた横浜みなと博物館に移動。係留されている練習船・日本丸と並ぶ、その多彩な展示物には驚きの声が上がった。

見学会終了後の桜木町駅前の懇親会には18人が参加。時間が経つのも忘れるほど飲み、語り、午後7時過ぎにそれぞれ家路についた。

**法学部自治行政学科2年 夢は通関士**

奨学生に選出していただき、誠にありがとうございます。多くの志願者の中から私を選出して頂けたことは大変光栄なことであり、非常に喜ばしく感じております。私には、将来通関士になるという夢があります。そのため、日々の大学での学習はもちろん、そのための学習にも毎日取り組むよう努めております。また、通関士になるために必要な英語力を身に付けるため、英語学習にも取り組んでおります。中学生の頃から英語に対して関心があり、過去に英検二級を取得しております。現在は、さらなる英語力の向上を目指し、今年中にTOEICで750点を取得するために英語学習に取り組んでおり、最終的な目標点数は850点を掲げております。これらは決して、簡単な目標ではないこ

と重々承知致しており、まさに「言うは易く行うは難し」であります。しかし、皆さまから受けたご厚意とご期待を裏切ることのないよう、そして自分を裏切らないようにこれまで以上に、勉学に取り組んで参ります。今日に至るまでこのように夢を持って、日々健康で興味のある学問に取り組むことができてるのは第一に母のお陰であると考えております。

私は母子家庭で暮らしており、自分が5歳の頃から今日に至るまで学費面はもちろん生活費まで母が工面をしてきています。そんな母に対して今の自分がどのようになれば負担を軽減させて、少しでも恩返しできるのかと考え、この度の奨学金に応募させて頂きました。奨学金は必ず、母の負担を軽減させ、自分が将来の夢を叶え社会に貢献していくにあたって、

# 「村橋精神」に感謝

## 令和4年度村橋・フロンティア奨学生から寄せられたお礼の言葉を紹介します。

**外国語学部英語英文学科1年 海外で働ける人**

奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。多くの志願者の中から選んでいただき、光栄に思います。私には幼い頃から父親がおります。母が女手1つで私と1つ上の兄をここまで育ててくれました。しかし、それは簡単なことではなく、母にとっでは大きな負担となっていると感じていました。もちろん私も少しでも家計の足しにできるようにアルバイトをしています。ですが、それだけでは足りません。だからといってこれ以上アルバイトをしてしまうと大学の勉強が疎かになってしまうと思います。母はやりたいことをやって欲しいと言ってくれますが、それでも限界はあります。そのため、私は今までのいくつかのことを金銭面の問題で遠慮してきました。大学受験の際は、複数の大学を受験することはできませんでした。だからこの度、採用していただいたことに大変感謝

申し上げます。私には「海外でも働ける人間になる」という目標があります。そのために、大学の講義を通してさまざまなことを学び、見識を深めたいと思っています。私が所属するプログラムには2年次に留学が必修で組まれています。これは私にとって大きなチャンスです。今ままであれば、このチャンスですら費用を抑えられるように妥協をするところでしたが、今回は気兼ねなく自分が1番選びたい道を選ぶことができます。これは大変幸福なことです。このチャンスを無駄にせず、積極的に学びを得ようと思います。そして、この経験を必ず将来へと役立てます。留学に加えて、今までも教材の購入や資格試験の受験がしやすくなったので、もっと多くのことに挑戦したいとも思っています。皆さまや母の期待に応えられるように努力を惜しまず、自分も後悔しないような大学生活にしていきたいと思

# 100周年に向け、さらなる輝きを



学校法人神奈川大学理事長  
**石渡 卓**

本年7月8日付けで理事長を拝命いたしました、石渡卓です。昭和51(1976)年に経済学部貿易学科を卒業し、信用金庫に勤務定年後、ご縁をいただき理事長就任の運びとなりました。母校の発展のために、誠心誠意、職務を全うしたいと思っております。フロンティアクラブには以前よ

り会員として仲間入りをさせて頂いていただいております。既に皆さま方とは旧知の関係ではありますが、改めて法人を代表しご挨拶を申し上げます。本学に対して日頃より奨学金をはじめ多大なるご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。時代が大きく変化する中であって、2021年度には、

みなとみらいキャンパスを開設し、外国語学部と国際日本学部、経営学部の三学部を集結しました。2022年度には建築学部を新設、さらに2023年度は理学部が横浜キャンパスに移転、これを機に化学生命学部と情報学部を新設いたします。

こうした学部の再編により理工系5学部が横浜キャンパスに集約され、法学部、経済学部、人間科学部とあわせ計8学部が集う総合大学ならではのキャンパスとするなど、新しい時代に即した各種の構想を着々と実現しているところでございます。

これからもハード面とソフト面のバランスをとりながら、未来を見据えたさまざまな改革を、今後は卒業生の皆さまと一丸となって進めて参ります。100周年に向けてさら

なる輝きを増すために、まずは「建学の精神」に沿って、次の事を進めてまいります。

- ① 大学経営の根幹である財政基盤の強化
- ② イメージアップとブランディングの進化
- ③ ステークホルダーとの連携強化
- ④ 意思決定の迅速化と可視化

以上を四本柱としてP D C Aを回しながら、着実な進捗を共有したいと考えております。

フロンティアクラブの皆さま方におかれましては、フロンティアサロンの活動等も含め今後の益々のご発展とご活躍を祈念するとともに、本学学生の未来のために寄付金をはじめ、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

村橋・フロンティア奨学金



横浜キャンパス集合写真



みなとみらいキャンパス集合写真

大きな力となると確信しております。奨学生に選出して頂いたことの貴重さとその責任を固く肝に銘じて、通関士のための勉強、日々の大学での学習に努める事を皆さまはもちろん、母にも行動と結果で示し、ご恩をお返しできるような大学生活を送ることをお約束致します。

経済学部経済学科2年

感謝を忘れず、謙虚に

奨学生に選んでいただき、心より感謝申し上げます。数多くの志願者がいる中で採用していただいたこと、大変嬉しく思っております。

大学に入学してから2年が経った今、授業にも慣れ、恵まれた環境で勉強に励んでおります。4年間という短い大学生活を実りある時間にした、と思いい、この機会に新たなことに挑戦したいと思っております。高校生の頃までは母や先生、周りの方々が、私が進むべき道をつくってくれる、サポートしてくださる環境であり、私自身もそのことを当然のように思っております。しかし、大学生になった今、自分の道は自分で切り開いていかねばならないと気付かされました。私が挑戦してみたい

と思ったことを、全力で陰で支えてくれた母がいたからこそ、今がある、神奈川大学に入学できたのだと痛感する日々です。母がこれまで私や妹のために、弱音を吐くことなく働いてくれていたことは当たり前ではないのだと、私もアルバイトをすることで初めて気付かされました。

今年の3月からは私もインターンに参加し、社会に出ることの厳しさを、自分の無力さに驚かされる毎日です。大学生活においても、自分自身に対して悔しくなること、虚しく思うことは幾度となくありますが、常に高みを目指し、そして何よりもこの恵まれた環境に感謝し、貪欲に生きていきたいと思

います。これからは周りへの感謝を忘れずに謙虚な気持ちを持ちながら少しずつ、これまでお世話になった方々に恥じないように精進していきたいです。今回、村橋・フロンティア奨学生に採用していただいたことにより、生活にも余裕ができて、より一層勉学に励むことができます。

奨学生に選んでいただいたことを肝に銘じ、常に感謝の気持ちと謙虚さ、素直さを忘れずに実りある大学生活を送っていききたいと思

国際日本学部国際文化交流学科2年 夢は地域貢献の公務員

奨学生に採用していただき、嬉しく存じますとともに心より感謝申し上げます。これを当たり前のことと思わず、奨学生に恥じないよう、さらに精進していく所存です。

私の夢は、公務員として地域に貢献することです。具体的には、地域の観光資源を活用して観光による地域の活性化を考えています。コロナ禍により、観光業界は今、瀬戸際に立たされています。しかし、観光客は必ず戻ってきます。その時に、私は少しでも多くの人に、少しでも多くの観光地へ足を運んでもらいたいと考えています。民間企業でも観光客と関わることは可能です。しかし、歴史的に価値がある観光資源は自治体によって管理されており、それらを活用することは民間企業にはできません。

私は歴史について勉強したり、歴史を知るために旅をしたりすることが好きです。しかし若者の多くは、旅に歴史を取り入れることがあまりないように感じます。そういう人たちに対して、歴史を学ぶことの面白さや、地元の人

経営学部国際経営学科2年 人と関わり視野を広げたい

奨学生に採用していただきまして心より感謝いたします。たくさんの志願者がいる中、選ばれたことをとても嬉しく思います。採用の連絡を頂いたときは、ほっとした気持ちに励もうという思いが生まれ、奨学生に選ばれたことを忘れず、多くのことを吸収し、今後の大学生活をより充実したものにしていこうと思

います。私の家庭は両親ともに高齢で、父はすでに定年退職しているため、現在は母のパートの収入と年金で暮らしています。この経済状況では、とても学費を支払い続けるのは厳しいものでした。両親は、私が大学を卒業するまでは働いて経済面で支えていきたいと考えてくれていましたが、両親の体力面でも心配があったため、今回の奨学金の採用はとても救われた気持ちです。今後は、両親への負担を少しでも減らして勉学に励む所存

です。

私の大学生活はコロナの影響もあり、一年生の頃は対面授業がほぼなく、人と関わる機会が全くありませんでした。それでも二年生になって少しずつ対面授業も再開し、さまざまな考え方を持った人と関わる事ができるようになりました。これが今では非常に良い刺激となっています。大学生活を通じて多くの人と関わり、さまざまな視点から物事を見られるようになりたいと感じるようになりました。

私は将来、人と協力して一つのものを作り上げていく仕事ができたいと考えています。これまでの大学生活の中で、授業内のグループワークで商品開発をしたり、課外活動の仲間とデザイン案を考えたりする機会がありました。これらの機会を通じて、多様な意見があるということを実感し、さまざまな意見を取り入れながら一つものを作り上げていく大変さと楽しさを感じました。経営学部生としても、こういったところ注目したら「売れるもの」が

建築学部建築学科1年 夢は、豊かなまちづくり

奨学生採用のお知らせをいただき誠にありがとうございます。今後、生活に支障なく勉学に励むことができることに歓喜し、同時にこのような機会を与えてくださったフロンティアクラブ様へ心より感謝申し上げます。

今まで以上に最大限の意欲、集中力を発揮し講義を受講し、将来の自分につながるような大学生活を送ります。さらに、生活面でも自立を目指し、心身共に健康な生活を送りたいと思っております。将来の夢はまだまだ模索中ではあります。都市計画やま

ちづくりに関わる仕事をしたかと思っております。現在学んでいる建築関係の内容に加え、今後まち再生、まちが育んできた歴史や文化の重要性についての勉学を始めるつもりです。具体的な将来像として、発展の余地がある土地の便利化、過疎地域での活性化など、そのまちの特徴を活かし、豊かな生活を送れるまちづくりを目指し、建築を絡めてアプローチしていきたいです。

奨学金は、生活費や学費の一部に使わせていただくことと思っております。建築学部は理系だということもあり、学費が高いのに加え模型作りや製図に使用する材料費が多く、生活費を削り生活している状態で、心身共にきつい状態が続いていました。その中、このような素敵な機会をいただき心より嬉しく思います。

今後は「村橋・フロンティア奨学生」だという自覚を忘れず行動し、将来像を実現させるためには欠かせない大学生活を送りたいと思

村橋・フロンティア奨学金

それらから感じられる地域の魅力などをアピールし、地域の活性化につなげたいと考えました。それは、歴史資源を活用できる公務員であれば実現できると思っています。

公務員試験は簡単ではありません。対策の講座にはお金も必要です。私には大学に通う兄と来年高考受験を迎える弟がいるため、これ以上両親に経済的負担をかけることは避けたいというのが正直な気持ちです。しかし、大学の勉強で一杯の私には、アルバイトのための時間を確保することができません。したがって、今回いただいた奨学金は、公務員試験の対策に充てたいと考えています。

これからも勉学に励み、自分の夢を叶えることで恩返しができるように努力して参ります。

人間科学部人間科学科2年

心理カウンセラーが夢

奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。ご支援いただいた皆さまの期待に応えられるように大学生活を今まで以上に実りあるものにし、自分自身の成長に繋げていきたいと思っています。奨学金はすべて学費に充てようと考えています。私の家庭は母子家庭で家庭の収入が少ないため、

ないように過ごしていきたいと思っています。

工学部機械工学科2年

将来は支援する側へ

奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。奨学金は、学費として使わせて頂きます。15年前に父が事故で他界してから、母は毎日遅くまで働き私を育ててくれました。家計に余裕がないにも関わらず、母は私が興味を持ったことは何でも経験させてく

私は自分の学費と生活費をアルバイト代と貸与型奨学金から捻出している状態です。学費を稼ぐためアルバイトのシフトを多く入れており、自分の勉強時間がなかなか取れないため本奨学金を学費に充てることにより、アルバイトの時間を減らすことができ、将来の夢である心理カウンセラーの勉強時間に充てたいと思っています。

私はもともと心理学に興味があり、一年生のときに受けた授業でカウンセラーは医者でなくとも人を助けることができる職業であることに気づき、将来公認心理師の資格を取得して、カウンセラーになりたいと思っています。

授業を受けていて公認心理師として働くために秘密保持義務などの法律を学んだり、心の病はカウンセラーのカウンセリングだけで改善するわけではなく、チーム医療として医師や保健師など多職種連携をうまくとりながら、問題にスムーズに対処していることを学びました。

将来カウンセラーとして仕事をすることでクライアント（問題を抱えてカウンセリングに訪れた相談者）と良好な関係を保つことと、多職種連携によりクライアントにとって最善のサポートしていくために他の職業の人たちと常に円滑

れました。進路について悩んでいた時も、後悔しないようにと進路することを勧め、現在は学費の一部と生活費を負担してくれています。この度のご支援は、母子家庭育ちである私にとって大変ありがたく、母の経済的負担を減らすことができ嬉しく思います。

私は手に職をつけるため、神奈川大学の機械工学科に進学しました。1年次から実際に手を動かすモノづくりの体験学修ができる理想的な教育環境で勉学に励むこと

なコミュニケーションが取れることが大事であると考えています。そして三年生からはカウンセラーになるために必要な心理演習や心理実習の授業が入ってくるので、対人援助の知識を学ぶことはもちろん、今のうちから共にカウンセラーを目指している仲間たちと、コミュニケーションをとり合うことの大切さを忘れずに学んでいきたいです。

理学部総合理学プログラム1年

将来はITエンジニアに

奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。家庭の経済的負担を減らしたいと思い、応募させて頂きました。自分がアルバイトをして少しでも親の負担を減らしたいとも考えていましたので、採用していただいたおかげでアルバイトに費やす時間を減らし、勉学に充てる事ができます。奨学金をいただいた事で、自分の中で少し余裕ができて以前より一層、深い学びができると感じています。

私は将来ITエンジニア関係の仕事に就きたいと考えています。理由は元々パソコンに興味があり、もっとパソコンやスマートフォンなどの機器に詳しくなりたいという事と仕事を通じて人の役に立ちたいと思ったからです。そしてこ

ができています。倒立振りロボットを製作する授業を通して、自分で組み立てたロボットが動いたとき、機体の制御が出来たときに、喜びと達成感を味わいました。ご支援してくださる皆さまのおかげで、これからも有意義な大学生活を送ることが出来ます。また、興味のある経営について通信講座を利用して学習しています。時間に余裕のある大学生のうちに吸収できる知識や経験を存分に得て、経営の知識を持つエンジニアを目

フロンティアクラブ会員紹介



小竹 一臣

法律と共に音楽も生業に

平成3年法学部法律学科卒

この度、フロンティアクラブに入会しました小竹一臣と申します。よろしく申し上げます。

実は父も神奈川大学の同学科卒業で、大学とはご縁を感じます。大学時代は法律関係の道に進路を定めつつ、高校時代からの音楽活動に没頭。幸い3年次には卒業単位が修得でき、バンドの勝ち抜きオーディションでは決勝に進出。最後は都内で松田聖子さんや郷ひろみさんを育てたソニーミュージ

ック・酒井政利プロジェクトの目の前で演奏し、残念ながらガチガチに緊張してしまい落選しました。もし、グランプリを獲得していたら、進路は一変していたかも知れません。

卒業後は、数社の大手企業から内定をいただきましたが、小さな司法書士事務所を選びました。そこで3年間、一度県外でも修行した後で、横浜に戻り、運よく神奈川県内屈指の大手行政書士事務所

に5年間勤務した後、現在の根岸駅前の事務所で独立開業しました。現在は、上場企業から中小零細企業まで多くの法人や個人のお客様に支えられて、法務の仕事させて頂いております。おかげ様で事務所の顧問税理士や弁護士、そして多くのお客様も神奈川大学OBにお世話になっております。

大学時代は趣味の域に過ぎなかった音楽ですが、開業15年を迎えた頃から創作活動を再開し、現在は日本音楽著作権協会と日本作詞家協会の会員にもなれました。音楽著作権や音楽出版の分野は、テレビやラジオ放送、CD制作リリースの場面でも非常に権利関係が

れからIT化が進んでいき、自分が社会に貢献でき将来性がある仕事だと考えたからです。そのため私はITに関する知識やパソコンの操作を勉強してきました。現在幅広い知識を得るため理系分野を多方面から勉強しています。そして明確な目的意識とともに自身が成長できる多様な学生になれたらと思います。

2023年理学部が横浜キャンパスに移転します。私が総合理学プログラムへ進学したのは、理系科目を幅広く学びたいと思ったからです。はつきり成果の得る研究にも興味があります。神奈川大学には、色々な研究室が揃っていますので、夢中になれるテーマを見つけていきたいと思っています。今の社会や暮らしに欠かせないコンピュータやネットワークの世界ももっと深く知りたいです。これから本格的に情報、パソコンに関する勉強をやっていくので努力したいと思っています。

コロナ禍ではありますがサークル活動にも興味があります。たくさんの人と関わる事で広い視野を持つことができ、充実した学生生活を送ることができると思っています。

今後に関心のある事を学べる環境に感謝し、学生生活を無駄にし

指します。

卒業後は学業の継続が困難な学生や経済的理由によりやりたいことに挑戦できない子供を支援するために、ひとり親の家庭や児童養護施設などに寄付を行いたいと考えています。

次は、私が誰かの活躍を支援する側として社会に貢献できる人間になり、支援して下さった皆さまや母に受けた恩を繋いでいきたいです。

複雑であることから、法務の知識が大変役立っています。これからも学生時代に思い描いた法律と共に、青春を燃やした音楽をも生業として、この異質な分野での神奈川大学OBの方々と在学生との出会いを楽しみにしております。



平成14年(2002)、いそご法

務小竹行政書士事務所開業。上場企業や大手医療法人の法務顧問のほか、会社設立・営業許可・契約書の作成・相談、法律専門学校講師、音楽制作出版業務。



平塚祭名物「打ち上げ花火」

副学長  
大橋 哲

# 教員同士の交流が 学生の満足度を高める

2022年度副学長を拝命し、主に国際と教学改革関係の役割を担っております。大橋です。経営学部所属であることから、皆様に湘南ひらつかキャンパスへの思いを紹介する機会を頂き、フロンティアクラブのご厚意に感謝いたします。1989年開設の湘南ひらつかキャンパスは、2021年度における経営学部のみならず、2023年度には理学部が横浜キャンパスへ移転することで、34年間にわたる歴史の幕を閉じます。キャンパス開設の1989年には、3年後の完成年度に18歳人口がピークに達することが予測されており、最寄り駅からバスで30分以上を要する土地でのキャンパス開設は、現在とは全く異なる環境での判断だったと思います。しかし、



快晴に恵まれた最後の平塚祭

そこで働く教職員の胸中には、この地理的な条件下において収容定員を満たすためには、質の高い学生サービスにより学生の満足度を高める以外に手はないという強い意識がありました。それこそが、湘南ひらつかキャンパスの一番の特徴であったと思います。志願者が激減した年などは、学生の興味を引くための新カリキュラムの構築を目指して夜中まで教授会の議論が続いたことも多くありました。学部教員全員で教育方針を議論するため箱根保養所での合宿も行われました。そのような教員同士の交流が、一丸となって学部教育に取り組むチームワークに繋がってきたのです。ひらつかキャンパスの両学部共に、存続に関する危機感を共有することで学部間の協力を生み、学生の成長支援第一主義が多様な経歴の教職員を統合する信念として共有されてきたのがひらつかキャンパスでした。10月30日、最後の平塚祭中に開催されたホームカミングデーには、懐かしい卒業生が数多く集まってくれました。彼らとフィナーレの打ち上げ花火を仰ぎながら、ひらつかスピリットが彼らの中に、また新たなキャンパスで教育活動を行っている我々教職員の中に、永遠に生き続けることを祈りました。



図2 発射の様子 ©syo-ko.com 1996 - 2022

工学部教授 (機械工学科)  
高野 敦  
宇宙ロケット部顧問



図1 前日夜22時30分より準備 ©syo-ko.com 1996 - 2022

今回の打上げは非常に多くの困難がありました。打上げは10月8日～11日の4日間を確保しておりましたが、初めの2日間は強風注意報が発令され、日を追うごとに波が高くなり、機体回収の為の漁船を出せなくなる可能性がありました。また後半2日間は雨の予報であり、海上保安庁などに提出していた実験計画では海上の安全確保のため、雨天では他の船舶を目視できないため打ち上げない、としておりました。漁船の船長さんには打ち上げを断念し、時期を変えて来る

このたびは宇宙ロケット部を応援いただき大変ありがとうございます。皆さまのご支援のおかげでクラウドファンディングにおいては目標の600万円を大幅に上回る903・5万円を達成し、同時に「神大スポーツ・文化振興賛助基金」においても多くの支援をいただきました。宇宙ロケット部部員・高野研究室一同感謝しております。

ことを勧められましたが、そこを押し切り、初日8日の朝4時の段階で波及び天候を見て、漁船の船長さんの判断で船が出れば打ち上げを実施する、となりました。またロケットはあらかじめシミュレーションをし、これも実験計画に規定されている、直径20mmの計画範囲への落下が要求されているのですが、強風のため当初の打ち上げ角83度ではこれから大きく外れることが確実となりました。これらの状況の中で、前日22時30分からの打ち上げ準備(図1)と並行して高度を抑えてでも打ち上げる方法を検討し続けた結果、打ち上げ角を72度に下げることによって計画範囲内に収められ、予想到達高度は4・8kmとなりましたが、打ち上げが可能になりました。そして8日朝6時に打上げることができました(図2)。

到達高度は約4・2km(速報値)と日本高度記録更新とはなりませんでしたが、再生プラスチックで燃料の実証を達成することができました。来年の打ち上げでは風の影響を軽減できるような対策を取って再挑戦したいと考えております。

困難乗り越え打ち上げ成功  
ご支援に感謝!

秋の交流会

フロンティアサロン 動画の紹介



富士山をバックにスタート前の記念撮影

17人が参加した懇親ゴルフ会が11月25日、足柄森林C.C. (現PGM御殿場C.C.)で開かれた。

ゴルフの会

富士山の神々しく満足

「あわてず、あせらず、あきらめず」を心の中で呪文のように繰り返しながらも100を切る望みは叶えられなかった。が、石渡卓神大理事長や春原正三郎当会会長、参加者不足を今回も補って下さった

(原 柳作)

た実力ナンバーワンの實方久美子さん(實方副会長夫人)ら、スタート前に参加者全員で撮った神々しい富士山(写真)に出合えただけで大満足した。会場手配や賞品まで用意して下さる。大会実行委員長。の實方誠一さんや事務局に感謝するとともに、年2回の懇親ゴルフ会に多くの会員が参加して下さいませ。いし、報告とします。

フロンティアクラブの会員限定の公式YouTubeです。QRコードから各サロンの講演会をご覧ください。

第125回フロンティアサロン

(2022/5/18 みなとみらいキャンパス開催)

建築学部創設について
講師 内田 青蔵 (神奈川大学建築学部 建築学科教授 建築学部長)
講演内容 2022年4月に工学部から独立して開設された建築学部についてです。時代は「スケラップ&ビルド」から「キープ&チェンジ」へ。単なる建築技術者の育成から脱却し、建築を介して人々の生活を豊かにすることを使命とする建築専門家を育てる学部を創設するまでの想いをお話いただきました。



第126回フロンティアサロン

(2022/7/20 岩手県からのリモート講演会)

「東北でぶどうづくりに命を燃やす男の生きざま」
| 情熱をこの世界に | 投石し続けることの意味
講師 鈴木 寛太氏 (2014年経営学部国際経営学科卒業)
講演内容 神奈川大学在学中に東日本大震災のボランティア活動に参加し何度も岩手に通ううちに岩手が好きになり、ついには移住し、就農経験なしにぶどう農家になつてしまった寛太さんの「人生は小説より奇なり」を体現するような、波乱万丈なお話です。



第127回フロンティアサロン

(2022/9/21 横浜キャンパス開催)

ハイブリッドロケットなどの学術系課外活動団体と今後の課題
講師 高野 敦 (神奈川大学工学部 機械工学科教授)
講演内容 打上げ高度日本記録を更新した宇宙ロケット部、世界最速記録を樹立した宇宙エレベータはじめ、学生フォーミュラおよびロボトッププロジェクトの4つの学術系課外活動も紹介しています。これらの活動は、工学部機械工学科が支援・指導していますが、大学全体としての支援体制の必要性などについてお話は及びました。なかなか聞けないロケット部の開発秘話や苦労話もお楽しみください。



湘南ひらつかキャンパスの思い出

教職員と学生の距離の近さがキャンパスの魅力

湘南ひらつかキャンパスに初めて訪れた時の印象は、おそろくどなたとも共通している。バスは次第に山の中に入り込み、このように大学があるのかと不安を覚える。しかし、大学入口を曲

がると、美しい銀杏並木の先にきれいなキャンパスが現れ驚かされる。そして、西の方にそびえ立つ富士山にさらに驚かさる(写真1)。それが神奈川大学に赴任し

理学部長 木原 伸浩



写真1 湘南ひらつかキャンパスから見る富士山

た平成17年のことなので、17年前のことであるが、昨日のことにように憶えている。それ以来、私は平成元年に開設された湘南ひらつかキャンパスの歴史のちょうど半分を見てきたことになる。湘南ひらつかキャンパスの特徴は、教職員学生の距離の近さにある。毎月、教授会が終わると、理学部の教員を中心に、時に経営学部の教員や職員も交えてくすのき会という飲み会が開かれるのが通例であった。毎回、酒と料理の用意をするのが私の役割で、特に冬はいろいろな鍋で楽しんだ。残念ながらコロナ禍のためくすのき会は開けなくなったが、ここで培った人間関係があったからこそ理学部の横浜移転が進められたと考えている。平塚祭には毎年学生と模擬店を出した。私がガラス細工でガラス玉を作り、そこに構造物をもつ液晶を詰めて作ったアクセサリーを売る店である。液晶の発色の原理は研究テーマとも関連するものなので、理学部らしい店だと思つて

いる。商品が好評だっただけでなく、いつの頃からか学生が用意した衣装でコスプレをすることとなり、来場者の投票による模擬店コンテストでは毎年のように1位をいただいた。コロナ禍は平塚祭をも襲ったが、湘南ひらつかキャンパス最後の年となる今年には3年ぶりに対面で開催することができた(写真2)。ホームカミングデー・ファイナルには多くの卒業生が来場し、湘南ひらつかキャンパスの思い出を持ち帰ってもらった。その最後を飾ったキャンプファイヤーで、模擬店用のはずのコスプレが役に立ったのは私の善き想い出である。



写真2 最後の平塚祭の様子

# 落ち葉踏みしめ、 小雨の鷹取山

山歩きの会・散策の会



2022年11月26日 湘南ひらつかキャンパスを背後に記念撮影

小雨模様の二宮駅からバスに乗り生沢で下車、大磯町で最も標高が高い(標高219m)鷹取山に向かいます。うっすら濡れる程度の雨。濡れた落ち葉の絨毯とさまざまな形の木の実を踏みしめ、モヤのかかった山中を進みます。すぐに急勾配の階段道となり、一同だんだん無口に(笑)。途中、小林照夫氏よりレクチャーをうけ、さらに進むと山頂の鷹取山神社(826年に建立)に到着。

巨大な銀杏の大木に守られた神社一体は、タブヤスダジイなどの常緑広葉樹林帯。下山中、ブロッコリー畑に差し掛かると、空から明かりが差し込んで、大きな虹を見ることができました。

事務局 千葉 陽史

## 事務局からの お知らせ

### フロンティアクラブ HP更新について

フロンティアクラブHPをリニューアルしました。フロンティアクラブで開催された行事の内容をいち早くお届けします。HPについては、以下のURLおよびQRコードからご覧ください。

【神奈川大学  
フロンティア  
クラブ HP】

<https://www.kufc.jp>



### メールアドレスの 収集について

フロンティアクラブで郵送している各案内資料や卒業生の活躍、大学の情報等を会員の皆さまにメールにて、いち早くお届けしたいと考えています。そのため、メールアドレスの収集にご協力をお願いいたします。

メールをお使いの方は、以下まで氏名をご記入の上、メールをお送りください。また、メールアドレスをご変更された場合にも、お知らせいただきますようお願いいたします。

【メールアドレス】  
kufc-frontier@  
kanagawa-u.ac.jp



### 村橋・フロンティア 奨学金 募集のお願い

「村橋・フロンティア奨学金」は、「学業・人物ともに優れながら経済的な理由により修学が困難な学生」を支援することを目的としており、母校における重要な学生支援制度の一つです。今回、お届けした奨学生の感謝の言葉が心に響きます。今後も皆さまからのご寄付など温かいご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

ご寄付の詳細につきましては、11月にお送りした「村橋・フロンティア奨学金」へのご協力のお願いと「募金事業だより」をご確認ください。